



大磯小学校 学校だより

令和8年3月6日



【学校目標】 おだやかに 自ら学び 共に育つ

校長 成田 麻紀

暦の上では春…となってからの積雪と、その寒さに驚かされることとなりました2月。この地域で大雪警報が発令されることになるとは、思いもよらないことでした。その後も数日ごとに寒暖差の大きな日が続くこととなりました。そのためか、本校でのインフルエンザB型は爆発的に広がることはなかったものの、五月雨のようにひざだらと続いておりました。しかしそれもどうやら終息がみえてきたようです。しかし今度は花粉症に苦しむ児童や教職員が増えています。早く快適に過ごせる日が訪れることを願うばかりです。



さて、年度末は校内ではいろいろなイベントが組まれています。1年生は「新入生を迎える会」で幼稚園生を迎え入れ、小学校について紹介していました。その姿はすっかりたのしいお兄さん、お姉さん。一年前の同じ時期の姿が懐かしくなります。



6年生の「総合的な学習」の発表として、『磯小万博』が開催されました。保護者の皆様や、学習を進める中お世話になった地域の方々をお招きしたと同時に、他学年の児童も参加したので、会場は大入り満員の大盛況でした。子どもたちの学びの成果をじっくりと聞いてきたかったのですが、あまりの盛況に一度断念。再び訪れてから、各クラスのプレゼンテーションを聞いたり、見られなかった紙芝居をせがんで聞かせてもらったり、様々なパンフレットをもらったりしました。また、子どもたちの大好きなICTを活用した早押しクイズでは、いろいろと子どもたちから話を聞いていたため、参加したグループの中では1位になり、ポテト名人の称号を得ました。



子どもたちが地域の未来を考え、様々な学びや提言をしていることに感心しました。ICTの活用能力にも驚かされます。こうした姿を、下級生に見せていくことも重要だと思いますし、何より子どもたちが本当に楽しそうであったこと、そして達成感を味わった表情を見せていたことが、とても印象的でした。お忙しい中足を運んでくださいました保護者の皆様、携わってくださった地域の皆様、本当にありがとうございました。



さて、令和8年度、本校は文部科学省より「教育課程柔軟化サキドリ研究校」に指定されました。

今回のサキドリ研究校事業では、1年間の授業時数の約10%を学校の裁量で調整できます。

これは、令和8年度より全国に先駆けて、学校独自の判断で「未来を生き抜く力を育てるための特別な時間割」を編成できる権利を得たということです。本校ではこの特例を活かし、「大磯を教室に、地域を先生に。」をテーマに、「大磯学」にスポットを当て、子どもたちのコミュニケーション能力の向上を図りたいと考えています。

算数や国語などの基礎学習は、ICT教材（タブレット等）を活用し、効率よく確実に定着させます。そこで生み出した時間を、この「大磯学」に充てます。町へ出かけたり、地域の方からじっくりお話を聞いたりする「本物の体験時間」を創出します。

「大磯学」の最大の目的は、「誰とでも、物怖じせずに、自分の考えを伝えられる力」を育てることです。同年代だけでなく、地域の商店主さん、農家さん、専門家など、多様な大人たちと関わる経験は、子どもたち



にとって大きな自信となります。この力は、将来の進学や社会に出た時に、必ず彼らを支える武器になります。



これからの時代、AI（人工知能）がどれだけ進化しても、決して代替できない力、それは、「多様な人と関わり、信頼を築くコミュニケーション能力」であると考えます。教科書の中だけで学ぶのではなく、大磯の豊かな歴史、自然、そして何より「地域で生きるプロフェッショナルな大人たち」と対話することで、子どもたちの生きた言葉を引き出し、自分たちの故郷を誇りに思う心を育てていきたいと思ひます。

～ 「大磯学」で育つ3つの力 ～

- ①**対話力**： 地域の方へのインタビューや提案を通じ、物怖じせず、相手を尊重して話す力を養います。
- ②**探究力**： 「なぜ大磯はこうなの？」という疑問を自ら解決し、発信する力を育てます。
- ③**郷土愛**： 大磯の価値を知ること、**「自分はこの地で育った」というアイデンティティを確立**します。

「大磯学」の先生は、教職員だけではありません。保護者の皆様の知恵や、地域の皆様の経験こそが、子どもたちにとって最高の教材です。「こんな面白い話ができる人がいるよ」「こんな場所を見せてあげたい」といった情報を、ぜひ学校へお寄せください。大磯の未来を担う子どもたちを、学校・家庭・地域が手を取り合せて育てていく。そんな新しい学びの形を、ここ大磯から発信していければと考えております。



学年	テーマ	活動のねらい（地域の方との関わり）
1年生	町探検（基本）	通学路や近所の公園を歩き、地域の方に元気にあいさつをすることから始めます。「大磯っていいな」という心の根っこを育てます。
2年生	町探検（店舗）	町の商店などを訪ね、そこで働く人の思いを聞きます。買い物の仕組みだけでなく、「働くことの楽しさ」を対話から学びます。
3年生	大磯の自然	海や山、アオバトなどの貴重な生態系を学びます。自然を守る活動をしている方から、大磯の豊かな環境の価値を教わります。
4年生	大磯の環境	ゴミ問題や資源の保護など、地域の課題に目を向けます。「自分たちができる環境保護」を、専門家や地域の方と一緒に考えます。
5年生	大磯の産業	農業や漁業など、大磯を支える仕事に触れます。生産者の工夫や苦勞を知り、地域経済の仕組みを「人の顔」を通して学びます。
6年生	地域の未来	これまでの学びを統合し、「10年後の大磯」をより良くするための提案を考えます。町の方に向けて自分たちの考えを発信します。



